

# 頭張れ店長

## 「ちよつといい話」

今年も残り少なくなってきました。消費増税、天候不順、依存症問題への取り組み、カジノ論議など、いろいろなことがあったこの1年。年の締めくくりに店長さんたちに「ちよつといい話」を紹介してもらいます。

### 店長になった部下の電話

「副店長だった部下が、今年の異動で別の店の店長に昇格しました。若い頃から目をかけていたので、私も嬉しかったです。店長になってもよく電話をかけてきて、自店の機種選定やイベント企画の相談を持ちかけてきます。『お前も一国一城の主なのだから、自分で考えろ』と言いながら、頼られるのは嫌いではないので、親身に相談に乗っています。そのせいか、彼が赴任してから業績が伸びているようで、私もますます嬉しいです」(関東・A店長)

店長同士はライバルでもあるのですが、可愛い元部下の活躍を応援

する気持ちのほうが強いようです。

### 胃がん手術に人事部長が

「今年の夏に胃がんの手術をしました。がんと診断されたとき、闘病に専念しようと会社に休職届を出す、人事部長は『オレも胃がんの手術をしたけれど、2週間も入院すればすむ。術後の療養を入れても3週間で職場に復帰できる。カネもかかるだろうから有給休暇にしておけ』と言われました。有り難かったです。幸い早期発見だったので転移もなく、術後の経過も順調で3週間で復帰できました。がんで退職を余儀なくされる人もいるという話を聞いていたので、会社には本当に感謝しています」(中部・B店長)

早期発見なら、がんの手術・入院も意外に短期間で済むのです。

### 激高してガラスを叩き

「フロア回りのスタッフに呼ばれて行ってみると、お客様が『10

00回も回しているのに当たらないのはどういうことだ。どうせ遠隔をやっているんだろ』と大変な剣幕でスタッフを怒鳴りつけています。私が『当店は遠隔操作などしていませんし、当たるか当たらないかは遊技台の“ご機嫌次第。お客様もそれは“ご承知でしょう』とたしなめると、『開き直るんじゃないよ!』と激高して遊技台のガラスを叩き始めました。すると、バリツとガラスが割れました。とたんにお客様は正気に戻って、『あつ、すいません。申し訳ない』と

平謝り。私が、器物損壊で訴えることができるし、弁償を請求することもできることを説明して、『お客さんの気持ちもわかるので、今回のことは不問にします。でも、一つだけ約束してください。パチンコをやるときは、必ずうちの店に来てください』と言うと、『わかりました。有り難うございます』と素直です。どうせもう来ないだろうと思いましたが、1週間ほどして来店しました。私と目が合うと、照れくさそうに挨拶してくれました」(中部・C店長)

## 店長からの投書

3人の子ど

もが大きくなったので、住み替え

ようと賃貸住宅を探しましたが、広いところは

どこも家賃が高い。家族で相談して、家賃が安い郊外で

暮らそうということになりました。会社で営業部長に、事情を

話して次の異動で郊外店に回してほしいと願い出たら、「お前も変

わったやつだ」と笑われました。

それでも今年、念願がかなって、

今の店に店長として赴任しました。

車で30分ほどのところに一軒家を

借りましたが、それまでと変わらない家賃でした。家庭菜園ができる庭

もあるので妻は野菜を育て、子どもたちは近くの空き地で遊び回って、田舎暮らし

を楽しんでいます。ホールは全国どこにもあるし、業務も同じなので、都会を脱出

したい人にとっては恵まれた業界かもしれません。(関東・店長)

## 子供達のために 願い出て転勤して 田舎暮らし充実

### 社内の仲人を通算10組

このお客様は律儀なようで、今でも週に1回は来店しているそうです。

「うちの会社は社内結婚が多く、直属の上司が仲人を務めるのが慣例になっています。私も毎年2、3組の仲人を引き受け、今年は2組がゴールインして通算10組を達成しました。仲人は結婚式が

すんだら終わりというわけにはいきません。とくと同じ会社にいると、夫婦喧嘩の仲裁をしたり、住宅ローンの保証人になったり、ときには離婚の相談に乗ったりします。大変ですけど、わが身を振り返ると勉強になります」(関東・D店長)

D店長自身も社内結婚だそうです。職場が家族的な雰囲気だと、社内結婚が多いようです。

## 「今日は打ち納めにきた」

「入院した友人の見舞いに行ったら、店の常連さんが点滴のスタンドを引きながら廊下を歩いているところに出くわしました。病気はプライバシーに関わることなので見なかつたふりをしようとしたら、『やあ、店長さん』と先方から声をかけられました。すい臓がんで入院しているけれど、暇だから付き合ってくれと言われ、食堂で1時間ほど話しました。それから1か月ほどして、ふらりと来店したときは、さすがにやつれていました。が、『今日は打ち納めに来た』と軽口を叩きました。私に気がなまって様子をうかがっていると、早々に大当たりが出て、その日は好調でした。玉箱を7つほど積み上げたところで終了し、私に『これで思

い起こすことはない』と言って帰って行きました。それから顔を見せないで、親しくしていた常連さんに聞くと、病気で亡くなったそうです。本当に打ち納めだったようです」(中部・E店長)

最期に勝ってパチンコを終えることができたのは本望だったでしょうとE店長は付け加えます。

## 「ゴト行為警戒中の放送に」

「うちの店では、怪しい客が来ると店内放送で、『ただいまゴト行為警戒中です。不審な行為を目撃なさったお客様は、お近くのホールスタッフにお知らせください』と注意喚起をします。これでゴトをしようとする連中は早々に退散するのですが、今年、それでもひるまずにゴトをやるようになったのがいて、お客様が知らせてくれました。ゴトグループに逆恨みされるのが嫌で、見て見ぬふりをする人が多いのか、お客様の通報でゴトを捕まえたのは初めてでした。お客様への謝礼は、景品コーナーで1万円相当の景品を1点、選んでいたいただきました」(関東・F店長)

お客様は隣で打っている人が気になり、不審な動きをすればわかるものです。お客様の目をゴト対策に生かしたいものです。